

「パウロ・・・生き方の手本」 使徒 22:14~16

はじめに： 「使徒の働き」の前半、後半： ペテロとパウロ

I. パウロを見習う

* Iコリント 11:1; ピリピ 3:17

* 使徒 22:14~16

II. パウロの魅力的な生き方

(1) どんな時でも満ち足りている心を持っていた ピリピ 4:11~13

(2) いつも喜びがあった ピリピ 1:12~14, 18; 4:4

Iテサロニケ 5:16~18

(3) 人を救うために自分の権利を捨てた

- パウロは自分が持っていた人々の救いに関する情熱のことを見習ってほしいと書きました。 Iコリント 10:33~11:1
- 権利を捨てる理由 Iコリント 9:4~6, 12, 15, 19~22
人を救うために人の奴隷（相手に仕える）となる
- クリスマンライフは一つのことばでまとめられる： _____です。
神を _____、人々を _____ ことです。

おわりに： 最高の生き方の手本： ピリピ 2:6~7

あなたにも魅力的に生きるための力が与えられています！

グループの分かち合いのため：

- ① パウロの生き方を考えて、あなたにとってどんなところが一番魅力的でしょうか。
- ② 先週、聖霊の導きで、どの程度（1から10）Iテサロニケを実行しましたか。
- ③ Iコリント9章19と22節を読んでください。あなたの周りの人々（家族、近所、職場や学校の仲間など）が救われるためにどのように使えたら良いでしょうか。具体的な使い方を分かち合いましょう。